

殺虫剤

マラソン・MEP 乳剤

トラサイド® A乳剤(トラエース)

農林水産省登録 第 14166 号

性状：黄褐色可乳化液体
 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 危険物：第四類第二石油類
 有効年限：3年
 包装：500ml×20

有効成分：マラソン (PRTR・1種)・・・10.0%
 MEP (PRTR・1種)・・・40.0%

殺虫剤分類 **1B、1B**

トラサイド®はサンケイ化学㈱の登録商標です。

特 長

○ MEPとマラソンを混合し、さらに浸透性活性剤を配合した製剤で、樹皮内のカミキリムシ類やコスカシバ等の幼虫に優れた殺虫効果を示します。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	マラソンを 含む農業の 総使用回数	MEP を 含む農業の 総使用回数		
もも	コスカシバ	200～ 300倍	100～ 450ℓ/10a	収穫後～ 発芽前 (幼虫食入期)	1回	樹幹及び主枝に 十分散布する	5回以内	6回以内 (樹幹処理は 1回以内)		
3回以内					3回以内					
すもも		200倍	2回以内	2回以内						
りんご	カミキリムシ類	200倍	0.5～ 2.0ℓ/樹	産卵初期～ 産卵最盛期 直前但し収穫 30日前まで	3回以内	樹幹部に 十分散布	5回以内 (休眠期から芽 出直後までは 1回以内)	3回以内		
	キクイムシ類			4～7月 但し収穫 30日前まで						
	リンゴアナアキ ゾウムシ			7～8月 (幼虫食入期) 但し収穫 30日前まで		地際部灌注				
なし	カミキリムシ類	200倍	0.5～ 2.0ℓ/樹	6～7月 (産卵初期～ 産卵最盛期直前) 但し収穫 21日前まで	5回以内	樹幹部に 十分散布	5回以内 (休眠期は 1回以内)	6回以内		
	キクイムシ類			4～7月 但し収穫 21日前まで						
くり	カミキリムシ類	100～ 200倍	0.5～ 2.0ℓ/樹	裂果前 但し収穫 14日前まで	1回	樹幹部に 十分散布	4回以内	4回以内 (樹幹処理は 1回以内)		
	クリタマバチ	200～ 700ℓ/10a	200～ 700ℓ/10a	発芽直前		散布				
みかん	カミキリムシ類	200倍	0.5～ 2.0ℓ/樹	産卵最盛期～ 幼虫食入初期 但し収穫 14日前まで	1回	樹幹部に 十分散布	5回以内	5回以内 (樹幹処理は 1回以内)		
おうとう	リンゴアナアキ ゾウムシ			7～8月 (幼虫食入期)		樹幹部に 十分散布			5回以内 (休眠期の50 倍希釈散布は 1回以内)	2回以内 (樹幹処理及び 灌注処理は合 計1回以内)
	コスカシバ			100～ 450ℓ/10a		収穫後～萌芽前 (幼虫食入期)				

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	馬拉ソンを 含む農薬の 総使用回数	MEP を 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	ブドウトラカミ キリ	200 ～ 300 倍	200 ～ 700 ℓ / 10a	発芽前 (休眠期)	2 回以内	散布	6 回以内	4回以内 (収穫終了後 から萌芽まで は2回以内、 萌芽後は 2回以内)
かき	ヒメコスカシバ	200 倍	0.5 ～ 2.0 ℓ / 樹	産卵期～幼虫 食入初期 但し収穫 30日前まで	2 回以内	樹幹部に 十分散布	4 回以内	3 回以内 (樹幹処理は 2 回以内)
桑	カミキリムシ類	100 ～ 200 倍	100 ～ 300 ℓ / 10a	発芽前 (3 ～ 4 月) 及び夏切直後	6 回以内	散布	6 回以内	6 回以内
		100 倍		晩秋期				

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 本剤が他の農作物の葉にかかると薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。
- ぶどうの休眠期、くりの発芽直前に使用する場合、使用時期が遅れると新芽、新葉に薬害を生じるおそれがあるので、時期を失しないよう注意してください。
- ぶどうに使用する場合、本剤は開花の日以前の使用であるので安全使用基準に該当しないが、MEP を含む農薬の使用回数は2回以内と決められているので留意してください。
- カミキリムシ防除に使用する場合は残効性が短く、使用時期を失すると効果が劣るので適期に散布するように注意してください。産卵最盛期～幼虫食入期が本剤散布の適期です。
なお、カミキリムシ類成虫の発生が長びく場合は、産卵最盛期直前と幼虫食入期の2回散布が効果的です。
- 散布液が葉にかかると薬害を生じるおそれがあるので、樹幹部のみに散布してください。特に新葉時期の散布は薬害を生じやすいので注意してください。
- 調製した散布液はその日のうちに使用してください。
- 雨天や降雨直後の散布は殺虫効果が劣るのでさけてください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさけてください。
- 本剤をみかんに使用する場合は、コート薬剤と混合して散布してもよいです。
- 桑に使用する場合は、発芽前(3～4月)及び夏切り直後に薬液がしったり落ちる程度に十分散布してください。発芽後の散布は薬害を生じるので使用しないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意してください。
誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 馬拉ソンの解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効であると報告されています。
MEPの解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効であると報告されています。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。
付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。